

香川県立高松高等学校・玉翠会を訪問しました

2022年12月

12月3日（土）、高村校長と知道会稲葉会長・河野幹事長が香川県立高松高等学校を訪問し、同校の同窓会組織「玉翠会」と交流を行いました。

高松高校は旧制高松中学校と高松高等女学校を前身とし創立130年を迎える伝統校で、卒業生は5万4千名にも上ります。玉翠会はその同窓会組織で、会員の親睦と母校への支援の活動を行っています。

水戸と高松は徳川光圀公の時代からの縁もあり、また同校は水戸一高 御厩副校長の出身校でもあることなどから、同窓会同士の情報交換を主とした交流をスタートするため、このたび関西方面への出張に合わせて訪問しました。

土曜の朝にも関わらず、高松高校からは中筋功雄校長、玉翠会からは間島賢治会長、佐藤哲也副会長と事務局の4名の方々がご対応下さり、両校ならびに同窓会組織の紹介、運営の状況や課題などについて約1時間半にわたって懇談しました。

今回の訪問をきっかけに今後も交流を続け、互いに提供する情報を両会の発展のために活かして参りたいと思います。

訪問の申し出をお受け下さいました高松高校玉翠会の皆様に御礼を申し上げます。

